

2022.5.16

# ギカイ の ひろば

## ◆CONTENTS

ロシアの軍事侵攻を全議員が非難 ▶P4

4年度予算 私はここに注目した ▶P10

町政を問う

—議員12人から一般質問12件—

▶P13



特集

商工会  
女性部

&

町議会





## 特集

# 商工会女性部 & 町議会

モットーは「楽しいことから始めよう」です。入会お待ちしております。

瑞穂町の産業を支えている商工会。そんな商工会には、産業まつりなど町の行事への参加やボランティア活動に積極的に取り組んでいる商工会女性部があります。現在会員は約60名。「仕事が優先」「楽しいことから始めよう」をモットーに、町やみんなを元気にするために活動しています。



### Q 普段、どんなお仕事をされていますか。

― 木材を扱っているのですが、チェーンソーを片手に現場監督をしています。それと事務仕事。  
― 服飾の仕事です。お気に入りの服の補修をお手伝いしています。  
― 家業が建設業で、主に電話番号と事務仕事ですね。  
― バスによる観光事業です。事務所にいる

### Q 入会のきっかけは？

― 母が高齢になり「受け継いでほしい」と頼まりました。  
― 私の住んでいる地域には商工会女性部がないから入会してほしいと頼まれました。当時、仕事が忙しかったので迷ったんですけど、結局入会しちゃいました。実は、香取議員から勧められました(笑)

### Q 活動内容を教えてください。

― 商工会館前の花植えをしています。おしやべりが楽しくて、手が休みがちに(笑)。  
― 産業まつりで花の販売もしています。売上の一部は社会福祉協議会に寄付しています。  
― 老人福祉施設の窓拭きボランティアは28年続けています。「外の景色がきれいに見えるようになった。ありがとう」って笑顔で言葉をかけられると、参加して良かったとうれしくなります。  
― 親睦会もあります。毎回20〜30人参加し



**関根 早苗** 会計  
経理はテキパキ、料理はプロ級のハイスペック主婦

**榎本 幸子** 会計  
東京オリンピック聖火ランナーに挑戦した元気チャレンジャー

**信廣 茂都子** 副部長  
お気に入りの服を蘇らせるミラクル職人

**手塚 登志子** 副部長  
チームのムードメーカー、さすがプロのバスガイドさん

**小峰 育子** 部長  
チェーンソーも扱うマルチワーカー & チームリーダー

### Q 記憶に残るエピソードは？

― 家業が100年続く木材関係の仕事をしています。高所でもとても太い枝切りなど、危険でかなり高い技術が必要なんです。先日、100年後に残したい企業としてテレビ番組で紹介されました。東京オリンピックに商工会女性部の一員として参加したいと思いついて、「でも、選手は無理だし(笑) 聖火ランナーなら」と大会本部に応募したら選ばれました。忘れられない思い出になりました。  
― 服飾を直す仕事をしています。店を3回引っ越しました。店が遠くなったお客さんから「丁寧な仕事をしてくれるか

### Q これから取り組みたいことは何ですか。

― 女性部で収益が見込める商品開発に挑戦したいですね。  
― 消費期限や季節に影響受けないもの、ゴミブリ退治のホウ酸団子なんて面白いかも。  
― SNSを活用して女性部の活動や魅力を発信してみたい。  
― 他にいいアイデアがあったら教えてください。一緒にクリエイトしましょう。

### Q コロナ禍の影響はどのくらいですか。

― 商売をしていて影響のない事業者はほとんどないと思います。でも、こんな時だからこそ頑張らないと。  
― 商工会女性部のモットーは「楽しいことから始めよう」です。コロナ禍でも楽しいことを仲間で作ったり元気の種を見つけたり、それが私たちの一番大切な仕事だと思っています。

### ご協力ありがとうございました。

# 4年度予算を集中審査 質疑件数は~~205~~205件



※コロナ感染対策のため、審査は議場で行った。



町執行部から4年度の予算案が本会議に提出されました。議会では委員長に村上 嘉男 議員、副委員長に小山 典男 議員とする12名で組織する予算特別委員会を設置し、3日間にわたっての集中審査を行いました。

審査対象は、一般会計と9件の特別会計等で、延べ205件の質疑となりました。また、4日目には質疑を通じて特に重要な案件3件を抽出し、議員間討議を行いました。

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	143億3000万0000円	-0.5%
特別会計	国民健康保険	36億7770万9000円 +2.5%
	駅西土地区画整理事業	10億8018万2000円 -26.8%
	介護保険	25億3052万4000円 +2.1%
	後期高齢者医療	8億2095万8000円 +8.1%
	殿ヶ谷財産区	410万6000円 -3.6%
	石畑財産区	1403万5000円 +13.5%
	箱根ヶ崎財産区	862万7000円 +9.6%
長岡財産区	76万1000円 -1.4%	
下水道事業会計	予算金額	前年度比
収益的収入	11億4508万5000円	-2.4%
収益的支出	11億2731万7000円	-0.9%
資本的収入	3億1799万1000円	+7.9%
資本的支出	4億7307万9000円	-9.8%



賛成討論 (要旨)

森 巨 議員

コロナ感染対策などさまざまな財政支出、税収の落ち込みや増加し続ける社会保障費などで、財政運営は極めて厳しい状況になっている。このような中で、地域経済の活性化と行政事務の簡素化・効率化に向けて、デジタル化の推進に万全の態勢で臨もうとしている点は高く評価できる。また、組織改正により新設された協働推進部が、協働による観光産業の促進や学校・家庭・地域の連携を推進するカンフル剤になることを期待したい。

反対討論は、ありませんでした。



## ●●● 補正予算を可決 ●●●

pick up 1

### 1,000万円以上の寄付が町に

- Q ふるさと納税の成果は。
- A 2月までの段階で260件、約1,260万円の寄付（ふるさと納税）があった。主な返礼品と寄付金額は、シクラメンが136件で約200万円、ゴルフクラブが32件で約950万円である。
- Q 総務管理費に寄付金として100万円計上されているが理由は。
- A 1月に「公共交通など都市整備に使ってほしい」という趣旨での個人から寄付があった。本人の了解を得て多摩都市モノレールの基金に積み立てた。



pick up 2

### 運賃収入が・・・

- Q コミュニティバスの運行補助金として300万円計上されているが理由は。
- A 10月から運行実験を開始したが、運賃収入が予想を下回ったため、不足分を補助するものである。



### 全議員が非難！そして決議へ

#### ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難する決議 (要旨)

ウクライナへの軍事侵攻は明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為として断じて容認できない。瑞穂町議会は、ロシアが直ちに戦闘を停止し、軍を撤退するように求めるとともに、世界平和の実現に向けて、全世界が一体となって全力を挙げて取り組むよう強く訴える。

上記の通り決議する。

令和4年3月3日

東京都西多摩郡瑞穂町議会



代表して決議文を読み上げる村上嘉男議員

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。



# 私たちの税金、ムダなく

# 効率的に生かされるか

## 歳入

**問 税の徴収にさらなる工夫は。**

**税務課長** 3年度に、スマホなどによる電子マネーでの納税を2社と契約して開始した。その結果、利用件数は想定の6倍となった。4年度は納税環境をさらに改善するため、取扱業者を5社にする。

**問 太陽光発電設備蓄電気料売払代が減少した理由は。**

**地域課長** 設置から10年が経過し、固定価格買取制度が終了したためである。買取価格は設置時期により1kw42円から5円、1kw44円から8.5円に下がった。

## 安全安心

**問 防犯灯の設置工事費約800万円の内容は。**

**地域課長** 駒形富士山、高根、箱根ヶ崎地区の150基をLED化し、また、松原中央公園の南側を東西に抜ける緑道に新規で6基設置する。



防犯灯を設置予定の緑道(西松原地区)

## 環境

**問 町行政のCO2削減目標は元年度と比較して7年度までに-27%としている。4年度は目標達成に向けどのように取り組んでいくのか。**

**環境課長** 町の事業で排出する温室効果ガスを削減する。他にも、住民や事業者に対しても、広報活動を通じて削減をお願いしていく。



討議事項となった事業 (P8・P9 参照)

## 行政改革

**問 コンビニ交付クラウドシステム導入委託料として約1,800万円計上しているが。**

**住民課長** 現在、役場内の戸籍システムのサーバーは約88万円/月の借上料が掛かっているが、民間のサーバーを活用し17万円/月とする。これによりシステム全体で20万円/月の経費節減とコンビニ交付が可能となる。

**問 西多摩医師会との契約交渉の結果は。**

**健康課長** 単価の0.1円引き下げに協力いただけることになった。これにより、予防接種で約27万円、大腸がん検診で約8万円の委託料削減となる。

## 産業

**問 ものづくり・DX等推進事業補助金、1,375万円の補助対象は。**

**産業課長** 新製品・新技術開発着手支援事業、新製品・新技術開発支援事業、DX推進事業、販路開拓支援事業、人材育成支援事業と産業財産権取得支援事業の6事業を実施する。補助率は1/2または2/3となっている。

**問 会計年度任用職員を1名増員しているが業務内容は。**

**産業課長** ものづくり・DX等推進事業補助金の実施に伴い、中小企業診断士の資格者を雇用する。

**問 公式キャラクター着ぐるみ制作委託料として220万円計上しているが内容と活用は。**

**産業課長** 1体制作する。産業まつり、各種式典や町内イベントを中心に活用していきたい。今後、使用・運用規定等も策定していく。



ぬいぐるみの試作品

## 教育

**問 学びのテーマパークを進める上で、地域人材をコーディネートする地域学校協働本部の組織体制について、4年度では見直しが図られるのか。**

**教育指導課統括指導主事** 今年度はこれまで通り学校や教育委員会が主導する。将来的には地域コーディネーターの主導で実施し、統括コーディネーターは教育委員会ではなく、町全体を見られる方にしていきたい。

**問 ふるさと学習みずほ学の事業計画は。**

**教育指導課長** これまで各校が独自のカリキュラムで実施してきたが、小中学校での9年間を通じて、より効果的な事業となるように、各校代表の教員で構成する「ふるさと学習推進委員会」で内容を構築して実施する。

## 福祉・健康

**問 新規計上の認知症検診事業委託料約47万円の具体的内容は。**

**高齢者福祉課長** 75歳以上の後期高齢者に事前にできるチェックリストを郵送し、結果により指定医療機関で機能検査を実施する。認知症の疑いのある方の早期発見や発症、進行を遅らせることを目的にしている。

**問 健康増進事業運営委託料約790万円の内容は。**

**健康課長** スマートフォンアプリを使って、ウォーキングなどの町が指定する健康増進事業参加者にポイントを付与し、ポイントに応じた景品を抽選により交換する事業。

**問 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が始まる一方で、医薬材料費で約1,000万円減額になっているが。**

**健康課長** 前年度、ワクチンを900回分見込んでいたが、実績に合わせ600回分に削減した。積極的勧奨が4月から再開されることになっており、接種をしていない17歳から25歳までの女性に通知を発送する。

## まちづくり

**問 モノレール沿線のまちづくり検討業務委託料として約384万円計上されているが、地域住民の声が反映されるように考慮されているか。**

**都市計画課長** 都の都市計画の手続きに合わせ、円滑に計画が進められるように新駅や沿線のまちづくりの進め方を検討する。今後、進捗状況により地域の声を計画に反映していきたい。



小池都知事に署名簿を手渡す「モノレールを呼ぼう 瑞穂の会」の代表と町長

**問 公共交通検討支援業務委託料として約400万円計上しているが内容は。**

**公共交通担当主幹** 本来、調査員がコミュニティバスに乗り込んで調査するOD調査が理想だが、1,000万円前後と高額な見積額となったため、今回はバス乗降時の聞き取り調査とした。

**問 コミュニティバスの運行事業補助金約1億1,430万円計上しているが積算根拠と内容は。**

**公共交通担当主幹** 委託事業者の運行経費から、運賃などの収入を差し引いた金額を見込んで積算した。利用者は1か月3,000人を見込んでいる。また、支出では人件費が最も多くなっている。

**問 下水道事業の長岡1号幹線工事を実施する計画だが工事内容は。**

**下水道担当主幹** 完成まで3年間の工事となる。4年度は秋ごろ工事を始める予定。工事が完了することで、岩蔵街道周辺の冠水対策や駅西の区画整理地内の排水が的確に処理される。

各案件について、提案した委員から抽出理由のプレゼンテーションがあり、その後、全委員による討議を行いました。

## コミュニティバス運行事業は町民の声に応じていけるか

### ・プレゼンテーション要旨（原委員）

コミバスに関しての住民の関心は極めて高い。議会として、さらに住民ニーズに応えるため、将来性、有効性や費用対効果などさまざまな角度から話し合う必要があると判断した。



### 主な討議内容

元狭山地区は利用率が高いが、武蔵野地区はほとんど利用されていない。

元狭山地区では通勤通学の足として喜ばれているが、バスが広い道しか通らないことには不満が集中している。

1億円超の予算が使われていることを考えると、実証実験の結果を待つ前に地域の代表者として議員がしっかり議論していくべきだと思う。

実証実験中であり、コロナ禍で住民ニーズの把握も難しい状況である。

武蔵村山市ではコミバスが走らない地域にデマンドタクシーを導入している。利用者は2,300人以上おり、約8割が高齢者で市民からも好評を得ている。また、委託料は800万円以下で4年度はコミバスを一部廃止してデマンドの範囲を増やす計画のようだ。

全国的な成功事例として紹介されているのは、コミバスからデマンドに切り替えた地域だ。デマンドについても調査すべきである。

### ◆評価結果

(人)

評価項目	コミバス	学びのテーマパーク	みずほ学	
必要性 住民ニーズ	・必要性が高い	7	2	8
	・どちらかと言えば必要性がある	4	9	4
	・必要性が低い	1	1	
	・必要性が認められない			
妥当性 町で行わなければならないか	・町が主体的に行うことが妥当	7	2	2
	・どちらかといえば町が行うべき	4	7	8
	・側面的な支援に留めるべき		3	2
	・必要性がない	1		
長期総合計画、その他計画との整合性 計画的か	・計画に合致している	2	1	1
	・概ね合致している	8	8	10
	・計画に一部合致している	2	2	1
	・合致しているとは言い難い		1	
優先性 優先的に実施する必要があるか	・優先性が高い	5	1	4
	・比較的優先性がある	6	9	8
	・優先性が低い		2	
	・優先性が認められない	1		
有効性 最も有効な方法か	・有効と認められる	2	1	4
	・さらなる工夫が必要	8	9	8
	・有効性が低い	1	2	
	・有効性が認められない	1		

## 学びのテーマパークは学力向上策として効果が期待できるか

### ・プレゼンテーション要旨（森委員）

地域コーディネーターが、児童・生徒の主体的な学習を叶える人材や学校が求める人材を探し実施するのが本来の在り方だが、町では教育委員会や学校主導で、地域コーディネーターに依頼している実態も見られる。

### 主な討議内容

近隣市や日の出町では、すでに学校地域協働本部と地域コーディネーターが設置されている。

学校の取り組み状況の違いから見て、コーディネーター、支援スタッフ、ボランティアの役割や活用などが発展途上の段階である。

事業開始から2年経過したが、ある小学校では自主的に学ぶ児童が出てきている。もう少し時間が必要では。

社会教育課が所管の放課後子ども教室では、学校と地域をコーディネーターがマッチングしている。組織体制を見直せば時間をかけずに軌道修正できると思う。

この事業の目的には「自ら問題を解決できる力と学力向上を目指す」とある。この実現には相当高いスキルを持った人材が必要だと思う。教育経験のない方に求めるのは酷である。

強制的に学校に残して主体的な学習態度を身に付けさせるというのは無理がある。

## 「ふるさと学習みずほ学」で郷土愛や社会に貢献できる人材育成が図れるか

### ・プレゼンテーション要旨（森委員）

この事業は有意義であると認識しているが、町の児童・生徒の地域行事への参加率は全国平均を下回っている。みずほ学の趣旨や目的など、児童・生徒、教員や保護者などへ広く理解を浸透させていく必要がある。



校外学習で来庁した小学生

### 主な討議内容

授業の一環として地域の行事に児童・生徒を参加させるなどは考えられないか。

人材確保が重要になる。新設された協働推進部との連携に期待したい。

郷土愛は、知識だけではなく、自身が地域で必要とされ、自己有用感が育まれる中で醸成されていくものだと考える。

子どもたちの活躍の場を用意することが求められると思う。まちなか会議参加者からも意見として出されていた。

### ◆最終判断

**これら3事業は、所管する委員会で引き続き調査していく。**



納得度80%

**コミュニティバス**

実証実験運行事業は利用状況を精査、判断し、住民の声に還元だと思います。

下澤 章夫 議員

納得度90%

**みずほまる**

公式キャラクターみずほまるの着ぐるみがついに登場！いろいろな場面でみんなを和ませてくれるでしょう (^\_^)



香取 幸子 議員

納得度85%

**三つの実に注目**

①現実を見据えたコロナ対策。②着実に進める子育て支援・高齢者対策。③確実な財源確保。



村山 正利 議員

**古宮 郁夫 議長**

1年間の町事業を左右する予算。調査と委員会での質疑を踏まえた各議員の全予算への納得度と注目する事業をご紹介します。



納得度80%

**今後の図書館運営**

図書館がリニューアルされた。これからは運営により多くの人に良書との出会いがあるよう期待する。



村上 嘉男 議員

納得度90%

**コンビニ交付**

マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストア等で住民票の写しなどの証明書を取得するサービスが始まります。



原 隆夫 議員

**4年度予算**

**全会一致で可決**

**私はここに**

**注目した!**

納得度85%

**コンビニ交付**

証明書コンビニ交付サービスの導入については評価できるが、コミュニティセンターでの交付ができなくなることに懸念が残る。



榎本 義輝 議員

納得度80%

**中小企業支援**

町のものづくり・DX等推進事業補助金を、町内中小企業者がどれだけ活用できるかが重要。



小山 典男 議員

納得度90%

**新たな組織編制**

デジタル推進課、協働推進課、産業経済課内の観光・プロモーション係などの町の活性化につながる取り組みや施策に期待する。



山崎 栄 議員

納得度90%

**健康ポイント事業**

新たな健康ポイント事業が、町民が病気にならないための行動に踏み出せる一助となることに期待。



下野 義子 議員

納得度80%

**学びのテーマパーク**

小学生が取り組んだノートまとめコンクールは評価できる。コーディネーターや指導員の発掘に努力していただき、内容の充実を目指す今後の展開に期待します。



小川 龍美 議員

納得度75%

**健康ポイント事業**

多くの住民が参加して自分の健康状態が自覚できるような取り組み内容に期待したい。



大坪 国広 議員

納得度80%

**コミュニティバス**

町民の意見（運行ルート、バス停等）を充分に取り入れ、町民のための「コミュニティバス」を望みます。



石川 修 議員

納得度80%

**成長戦略**

新設された協働推進部によるマッチング、デジタル担当課によるDX推進が成長戦略に資する成果を成し得るか。



森 亘 議員

～総務産業建設委員会で審査～

## どう判断する 消費税の行方

消費税・適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を働きかける国への意見書提出を求める陳情書

（陳情書の要旨）

現在、年間売上高が1,000万円以下の事業者は消費税の納税が免除されている。しかし、5年10月から始まるインボイス制度では、このまま免税事業者を継続するか課税事業者になるかを選ぶことになる。免税事業者のままでは、取引先の企業にとって「仕入れ税額控除」の対象にできなくなるため、企業にとって納税負担が大きくなり、その結果、零細企業や小さい個人事業主（約500万人）が取引先を失ったり、新たに会計システムを導入するための経費負担が増えることなどが危惧される。

出席者：石川 修、下澤 章夫、大坪 国広、下野 義子、榎本 義輝、原 隆夫、村上 嘉男、古宮 郁夫

### 【議員間討議】（主な意見）

この制度は、消費税における益税（事業者の利益になる）の問題を解決するために軽減税率が始まった時から実施が予定されていた事業である。

1,000万円以下の事業者なら消費税が益税になるというのは税の平等性に欠けるのではないか。

この制度が導入されると、特に個人タクシーが強く影響を受けると予測されている。多くの商工会が反対を表明していることから、調査を継続し、もっと掘り下げてから結論を出すべきではないか。

課税業者になることにより会計が明確になり、企業努力によってかえって販路が広がり成長するチャンスになる場合もある。インボイス制度そのものが絶対的に悪いということではない。

2025年には75歳以上の高齢者が約2,200万人、その内5人に1人が認知症、一方、介護人材は34万人が不足。社会保障費だけで140兆円を超えることなどがデータで示されている。こうした状況も考慮すると社会保障費の確保を優先するべきである。そもそも消費税法には「消費税は社会保障費と少子化対策に充てる」となっている。

【委員会での採決の結果】 不採択→委員長が審査結果を本会議で報告

### 本会議での賛成・反対討論

#### 賛成討論 大坪 国広 議員



町商工会や日本商工会議所など多くの団体が反対している。制度が導入されればすべての中小事業者の負担が増し、免税業者が取引から排除され、廃業が増加するなど、地域経済への悪影響は明らかだ。

また、町のシルバー人材センターで働く約460人への影響も見逃ごせない。多くの方は、「暮らしの足しに」と月5万円程度の収入であり、制度導入は高齢者のやる気を損ない、事業存続を困難にする。

#### 反対討論 森 巨 議員



消費税については社会保障と少子化対策に充てるのが消費税法と社会保障制度改革推進法に定められており、インボイス制度の根本が消費税である以上、消費税を「見える化」し、本来の目的である社会保障のためだけに使用制限することは必然である。ただ、制度導入による中小零細企業の経済対策は別途考えるべきだ。

採決の結果、不採択すべきものと決まりました。

※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。



森 巨 議員（自民誠和会）

### どう臨む 町の新体制での協働のまちづくり



町長 皆で知恵を出し合い 協働を作り上げたい



**質問** 町はこれまで協働のまちづくりを基本姿勢として各種事業を推進してきた。新たに4年度からは協働推進部が創設され、住民や各種団体との協働、平和や人権、安全安心、産業・観光を所管することになる。そこで次の3点を町長に伺う。  
**問①** 協働推進部の創設により、今までと何がどのように変わるのか。  
**町長** 行政の持つ情報と調査機能を生かすことができる。どう変えるのかではなく、変わることを手助けすることが基本である。  
**問②** 今後、町の各種協働事業の窓口は協働推進部となるのか。  
**町長** 各セクションの情報をつなぎ、コーディネートする機能を強化するため、協働推進部を新設する。  
**問③** 協働推進事業を推進する新たな事業展開は。  
**町長** 平和、人権、産業、観光や男女共同参画など、各テーマの協働の視点は幅広く確保されていない。町民、企業、各種団体など、皆で知恵を出し合い、協働を作り上げたい。

**町長** 行政の持つ情報と調査機能を生かすことができる。どう変えるのかではなく、変わることを手助けすることが基本である。  
**問②** 今後、町の各種協働事業の窓口は協働推進部となるのか。



新設された協働推進課

香取 幸子 議員（自民誠和会）

### これからの瑞穂町の観光産業について問う



町長 町の資源の発掘を戦略的に進める

**質問** 観光産業は旅行業や宿泊業だけでなく、小売業、飲食業や交通業なども含め、裾野の広い産業で地域経済への影響は極めて大きい。第5次長期総合計画では基本目標4の施策分野として観光・イベントを位置付けている。4年度に創設される協働推進部には観光・プロモーション係が新設予定であるが、新型コロナウイルスと共存しながら、住民と行政が協働で観光産業の活性化を推進し、どのような戦略で目標を実現するのかを伺う。

**町長** 新設の観光・プロモーション係では新たな視点としてさまざまな事例を分析し、自然や人の営み、歴史、産業などの地域資源の可能性を発掘し、発信の手法も戦略的に展開していく。また、町内各種産業の活性化と瑞穂ブランド化が重要であり、DXを進めることで、交流人口を増加させる。実施は行政と住民、観光協会など各種団体との協働が必要不可欠である。観光協会とも協議を行い、町の魅力を発信し、シティセールスを展開していく。



園児が作った、残堀川で元気に泳ぐこいのぼり

**山崎 栄 議員 (自民誠和会)**  
令和4年度の町政運営の方針について問う



**町長 新たな組織体制で臨む**

**質問** 収束の見えない感染症対策が続く中、新たな年度が始まるうとして。広報1月号で町長は「チャレンジ可能なまちづくりに向けて」と題し、施政方針を発表した。多くの施策を展開し、町の未来を創造する力に力をつけたいと結んでいる。そこで、具体的な4年度の町政運営の方針と施策について伺う。

**問①** 町内事業者の景気動向と町財政の見通しは。

**町長** 4年度予算案では、法人町民税について、コロナ感染の収束を期待し、6千万円程度の増額を見込んだが、個人所得は依然として厳しい状況にあることから、個人町民税は2千万円ほどの減額を見込んでいます。

**問②** 商・工・農の経済対策と活性化対策は。

**町長** 商業、工業、農業のデジタル化を進め、生産性の向上と労働力不足を補い、イノベーション創出の基盤づくりを進めていく。

**問③** 行政組織の見直しと重点施策は。

**町長** 新たに協働推進部とデジタル推進課を設置した。目的は、協働推進体制の強化と、行政・産業などのデジタル化を進めることである。



4年度施政方針を述べる杉浦町長



**下澤 章夫 議員 (自民誠和会)**  
ワンストップサービスを含む動物行政について



**町長 「命」 であることへの理解を求めていく**



**質問** 4年6月1日からブリーダーやペットショップで販売される犬・猫にマイクロチップの装着と指定登録機関への登録が義務化される。ワンストップサービスとは、狂犬病予防法の特例で、この装着と登録が、従来の狂犬病予防法における、犬の登録申請等と見なされ、マイクロチップが犬の鑑札と見なされる。この新制度の対応準備状況を含め、今後方向性および対応について町長の所見を伺う。

**町長** 国はマイクロチップの装着を犬の登録鑑札と見なすとしていますが、行政窓口で実施している畜犬登録にかかる3千円の収納主体と納付方法などが未整備であり、国に説明を求めている状況である。しかし、どのような形になっても措置できる体制を組んでいきたい。また、虐待や飼育放棄などの相談や苦情が寄せられるが、「命」であることへの理解を求めなければ状況の好転はなく、引き続き、獣医師、警察など関係機関と連携し対応していく。

**村山 正利 議員 (自民新政会)**

**令和4年度 町政策と事務事業の取り組みを問う**



**町長 SDGsを常に意識して行財政運営に努めていく**



**質問** 新型コロナウイルス感染症の猛威が続く中、社会や日常生活が大きく変容している。そうした中で、感染は止め、社会は止めないとする考えが主流となっている。さて、今議会では4年度予算を決定する重要な会議である。予算編成方針、第5次長期総合計画およびSDGs（持続可能な開発目標）などを考慮して政策が決定されると思う。これらの政策を進めるには適切な事務事業の遂行が重要と考えるが、町長の所見を伺う。

さまざまな内容を総合的に判断しながら行財政運営を決定していくことになる。4年度の予算編成では、現在の各種産業の生産性向上と、将来につながるデジタルトランスフォーメーションを見据えている。また、SDGsの「17の目標」を職員が常に意識し、持続可能な社会を実現するために、最善の行財政運営に努めていく。

**町長 新たな長期総合計画に示した各種施策の先行優先順位、国や都の状況や方向性など、**



町執行部の幹部会議。重要施策や将来構想が共有される

**原 隆夫 議員 (公明党)**

**高校生までの医療費無料化の実現を**



**町長 原資確保を都に求めていく**



**質問** 東京都は、現在中学3年生までとしている医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。現在、小・中学生には自己負担額から200円を引いた額の半額を都が助成し、残りの半額を区市町村が助成している。合意が得られた区市町村には2023年4月から順次助成を開始する計画である。町も高校生医療費無料化を実現し、子育て世代への支援を一層充実させるべきと考えるが、町長の所見を伺う。

**町長** 都は、5年度から区市町村の判断で順次制度を開始すると考えているようだが、制度の趣旨から実施せざるを得ない。都が選択制としているのは区市町村が一部負担することとを前提にしており、区部の財政制度と異なる多摩地域の市町村では一般財源を投入せざるを得ず、町の財源圧迫は必至である。現在、詳細な情報が入っていない状況であり今後、制度構築について都に意見を述べ、原資確保について都の対応を求めていきたい。

※この一般質問の翌日、小池都知事が都による5年間の全額負担を発表。



4月から高校1年生

**質問** 図書館のリニューアル工事も終了し、3月の春分の日には式典が予定されている。元年9月7日に第1回目の「瑞穂町の図書館をみんなで考え・つくるワークショップ」が開催されてから4年



榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

新たな図書館の運営について



**町長** ワークショップでの意見は可能な限り反映



リニューアルされた図書館

1月22日までで計6回を数えるが、リニューアルに反映された事項などを確認する。また、図書館の集客力を高めるために雑誌の付録の活用方法、リクエストの電話予約や広域利用などについて伺う。  
**町長** ワークショップでの多くの意見は可能な限り設計に反映した。誌の付録の活用は新たな来館者を呼び込む有効な手段の一つとして考えていきたい。

下野 義子 議員 (公明党)

プレコンセプションケアの取り組みについて問う



**町長** 妊娠や出産を大切に考えることは重要

大切に考えることは重要

**質問** プレコンセプションケアは、将来の妊娠を考えながら若い男女が自分たちの生活や健康管理に向き合うことである。3年2月に閣議決定された成育医療等基本方針にも取り上げられている。不妊症や合併症妊娠、先天異常や低出生体重児の出産などを無くすために、命の教育、健康管理の意識改革と実践、医療機関との連携などプレコンセプションケアの取り組みが求められる。町長に所見を伺う。  
**町長** 学校では、命の重みや、性別に関わりなく自身の生き方を尊重することを基本として、性について教育している。身体的性差や



愛情に包まれ幸せいっぱい家族

生殖に関する正しい知識を得て、妊娠や出産を大切に考えることは、世代の人たちが生活や子どもたちが健康に育つ可能性を広げる。町では、若年の健康診査、プレコンセプションケアの一環として、子宮頸がん検診、風しん抗体検査や両親学級などの事業を提供している。これらは、若い世代の人たちが生活や健康を振り返り、対策につなげるプレコンセプションケアの一環と考える。



小山 典男 議員 (自民新政会)

歩行者の安全確保の推進を



**町長** 安全の確保や適正な道路管理・整備に努める



**質問** 道路の側溝にかかるとふたの間でできる穴につまずき、転倒してしまうことがあり危険である。そこで、幼児や高齢者が安全に安心して道路を歩けるような整備を計画的に進めるべきと考えるが、町長の所見を伺う。  
に更新する。新年度に、道路整備方針の策定に着手する。道路整備における方向性を整理し、維持管理を計画的に進めていく上での指針と

側溝の補修工事 (石畑地区)



側溝の補修工事 (石畑地区)

石川 修 議員 (自民新政会)

瑞穂町コミュニティバスの運行状況と今後について



**町長** まずは改善を図りたい

**質問** 誰でも乗れるコミュニティバスの実証実験運行が昨年10月より開始され、小型バス3台、中型バス2台により5コースで運行されている。しかし、武蔵野コースについては以前より民営バスの箱

根ヶ崎駅東口から福生方面に行く人や福生駅東口から都営住宅までの利用が多く、コミュニティバスの利用者があまりいない。武蔵野コースは早急に廃止して、元狭山地区の町内の路地を走るコースに変更すべきと考えるが、町長の所見を伺う。  
**町長** 昨年10月から実証実験運行を開始して、5か月が経過したばかりであり、見直しは利用実態を踏まえて、検討する。武蔵野コースの利用は非常に少ない状況であるが、一部廃止については、地域住民の意見を聞いた上で実施しなければならぬ。2年間の実証実験運行期間は、まずは利用実態を踏まえ、改善を図っていききたい。税金で賄うべき地域公共交通の在り方について、議会や住民の方々と議論を重ね、検討を進めていく。



武蔵野地区を走行するコミュニティバス

## 議会の発信力を高めるには 設置された政策調査部

出席者：小川 龍美リーダー、  
大坪 国広サブリーダー、  
森 亘、下野 義子、  
村上 嘉男、香取 幸子

議会の広報活動の充実、推進に向けて発足した政策調査部は、町村議会広報コンクールで4連覇している埼玉県寄居町議会とのオンライン視察を実施しました。瑞穂町議会との主な相違点・類似点は次の通りです。



オンラインによる視察研修

- ①議会広報に向けた情報収集と取材は全議員が積極的に行っている。
- ②議会だよりは、全議員によって集められた情報に基づいて編集委員（8名）が担当する。
- ③議会活動に対して議会モニター（町民代表数名）から意見をもらう。

特に、寄居町議会は、「議会だより」に限らず、議会の広報広聴全般に対して「議会広報広聴特別委員会」が核となっていることなどから、瑞穂町でも核となる委員会の存在が必須であると学ぶことができました。議会モニターや広報広聴委員会の早期立ち上げに向けて、さらなる調査を継続していきます。

## 観光を町の顔にしたい 観光協会と総務産業建設委員会 との意見交換会

出席者：石川 修、下澤 章夫、  
大坪 国広、下野 義子、  
榎本 義輝、原 隆夫、  
村上 嘉男、古宮 郁夫



意見交換会の様子

瑞穂町観光協会から、総務産業建設委員会に意見交換会の申し入れがあり、4月11日に開催しました。

観光協会の役員の方から、「さくらまつり」「サマーフェスティバル」を主催していること、事務所がないこと、法人格を有する団体でないこと、役員の高齢化が進んでいること、会の継続が困難な状況にあること、一方で、観光が瑞穂の顔になれるように、運営方法やイベントなどについてアイデアを出し合っていることなどの説明がありました。委員からは、議会での動きについての説明や、経営状況、法人化に向けての課題などを質問しました。観光協会の役員の方から議員に対してもっと観光に興味を持ってほしいといった話もありました。

最後に副会長から「みんなに役立つ観光協会になれるように、今日を最初の意見交換とし、今後も続けていきたい」との言葉で終了となりました。



小川 龍美 議員 (公明党)

## 女性のデジタル人材育成の 取り組みを



町長 地域女性活躍推進交付金を

活用し支援



女性が活躍する子育て応援課

**質問** コロナ禍で、失業者の増加が問題になる一方、IT人材は2030年には最大で約79万人不足すると試算されている。政府は「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」に女性のデジタル人材育成の推進を明記し、2022年度予算案には女性のデジタルスキル向上や就業支援に地方自治体が活用できる「地域女性活躍推進交付金」を計上した。我が町も女性のデジタル人材育成に取り組むべきと考えるが所見を伺う。

**町長** デジタル分野での労働力不足は女性の能力開発だけでは対処できない。人材育成は男女の差ではなくデジタル人材育成の推進をデジタル人材育成に取り組むべきと考えるが、町全体の社会構造をデジタル化する方向と、推進計画を組み合わせて、性別にかかわらず、若い世代が町で家庭力と社会貢献の双方で活躍できる地域社会を目指したい。

町長 就業環境を整備と共に進めなくてはならない。男女の賃金格差、社会的地位の格差が残存する以上、地域女性活躍推進交付金を活用し、支援していくことは必要である。

**質問** 高齢性難聴は、高齢者の半数にあると推計される。難聴になると、家族や社会から孤立しやすく、引きこもりや認知症になるリスクが高まる。そこで次の3点について、町長の所見を伺う。

**問①** 高齢者の難聴と補聴器使用の重要性についての認識は。

**町長** 生活機能の向上や孤立防止につながるため、有効であると思う。

**問②** 難聴の早期発見のため、講座の開催や相談窓口を設置すべきでは。

**町長** 2か所の高齢者支援センターでは難聴に限らず相談が寄せられた場合、丁寧な対応をしており、現時点で



小型化された補聴器

**問③** 補聴器の購入のため、都の「高齢社会対策区市町村包括補助事業」を活用し「補聴器購入助成制度」を創設すべきと考えるが。

**町長** 都の補助制度は一部助成であり、それを超えた金額は町の負担となる。症状は老いとともに進み、購入後に活用されていない例も多い。厳しい財政状況で、症状に合わせて数回購入しなければならぬ状況では制度化は難しい。

大坪 国広 議員 (日本共産党)

## 補聴器購入助成制度の 創設について



# びっくり! 姉妹で最優秀賞連続受賞

「なんだろう?」「どうして?」知りたいことを図書館などで調べてノートにまとめ発表する「調べる学習コンクール」。浜辺和好(かずみ)さんは小学3年生の時に「セミの抜け殻」をテーマに発表。2年度の最優秀賞を受賞。翌年、6年生の姉の美結(みゆ)さんも「お米」をテーマに発表。こちらも最優秀賞を受賞しました。そして二人とも全国大会で佳作に入賞しました。「本でも新聞でも雑誌でも読むのが大好き。でも難しい本は・・・だから、みんなが楽しんで読んでもらえるように、自作のキャラクターにお話やクイズをしてもらいました。」読者を思いやる優しさや旺盛な好奇心の種を持つ二人。「調べの冒険」がまた始まろうとしています。



※二人の作品は瑞穂町図書館で閲覧できます。

次回 **6月**定例会 (予定) 6月1日～14日

次の定例会は  
**6月1日(水)**～  
午前9時30分開会

日	月	火	水	木	金	土
15 5月	16	17	18 請願、陳情の 受付締め切り日	19	20	21
22	23	24 議会運営委員会	25	26	27	28
29	30	31	1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4
5	6	7 総務産業建設委員会	8 厚生文教委員会	9	10 議会運営委員会	11
12	13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17	18

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴にお越しの際は、お電話またはホームページで日程などをご確認ください。

## 編集後記



▲阿豆佐味天神社の節分祭 (2019年)

ロシアによるウクライナ侵略が続いています。瑞穂町議会は3月の定例会2日目に決議文を全会一致で議決し、抗議の意を団体意思として表しました。

また、コロナ感染も未だ収束が見えない状況で、世界経済は混沌としています。1日も早く経済活動やコミュニティが復活し、皆さんの笑顔と、当たり前暮らしを取り戻せればと願うばかりです。

ギカイのひろばでは議会活動の報告とともに、皆さんの声を取り入れた紙面づくりを心掛けています。多くの皆さんの意見や感想をお待ちしております。

文：村上 嘉男

編集委員  
山崎 栄 森 亘  
小川 龍美 村上 嘉男  
香取 幸子



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335  
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433  
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp